

# 東京で進める医療DXと 東京総合医療ネットワークの 現状について

東京都医師会 理事

土屋 淳郎

# 医療DXの概要

～DX：デジタルトランスフォーメーションとは～

## IT (Information Technology):

- ・**情報技術**全般を指す
- ・ハードウェア、ソフトウェア、ネットワークなどの技術やシステム
- ・例：パソコン、サーバー、データベース、プログラミング言語など

## ICT (Information and Communication Technology):

- ・ITにコミュニケーション要素を加えたもの、**情報通信技術**を指す
- ・情報伝達、共有、コミュニケーションを円滑に行うための技術やシステム
- ・例：電子メール、Web会議システム、SNS、クラウドサービスなど。

## DX (Digital Transformation):

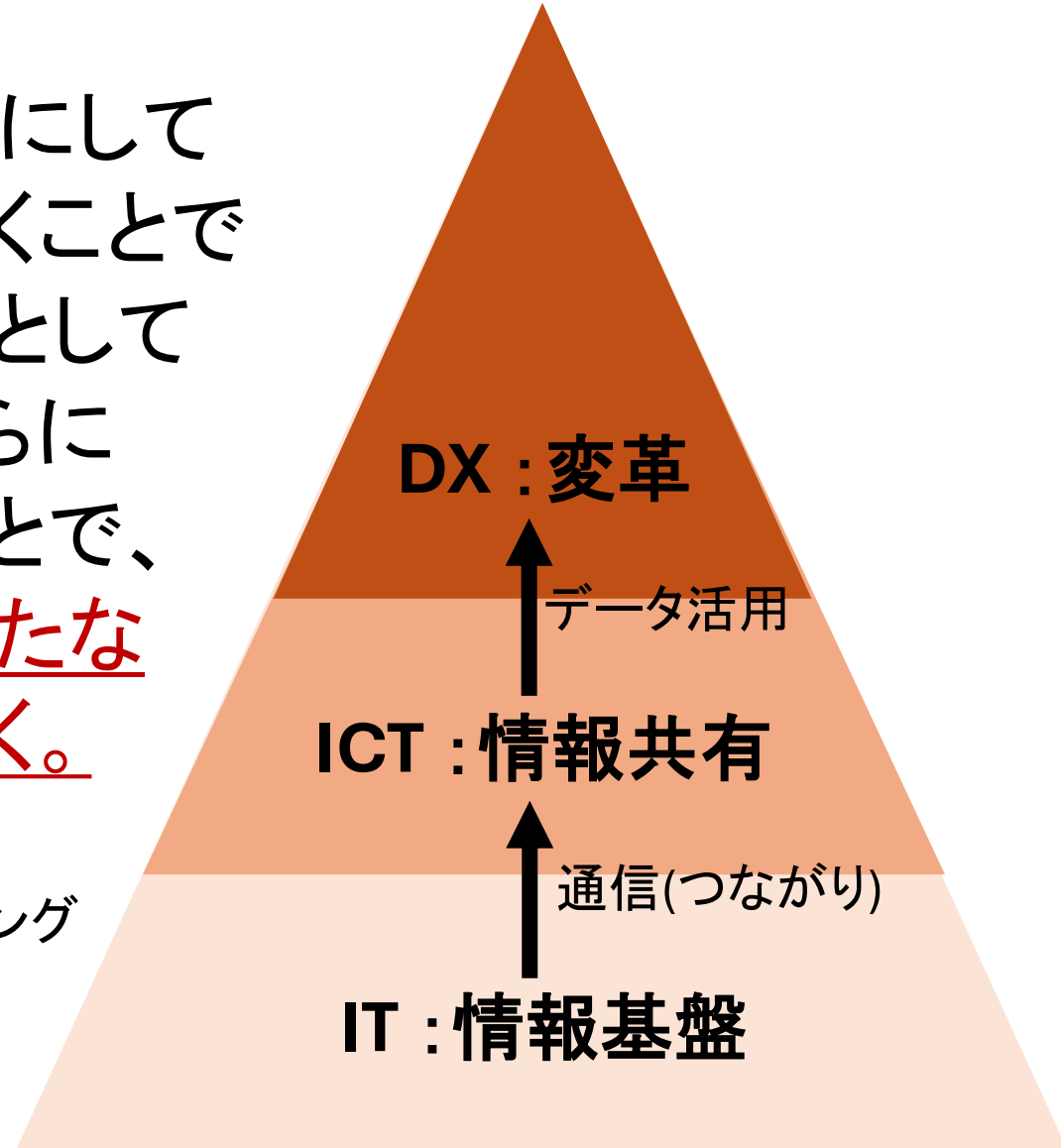
- ・デジタル技術を活用してビジネスモデルや組織文化を大きく**変革する取り組み**
- ・IT化やICT化にとどまらず、組織全体の**変革**を目的とする
- ・例：新たな業務モデルの創出、業務プロセスの効率化など。

# 医療DXの概要

～DX：デジタルトランスフォーメーションとは～

IT(情報技術)を基盤にして  
データをつなげていくことで  
ICT(情報通信技術)として  
情報共有を行う。さらに  
データを活用することで、  
DX(変革)を行い、新たな  
価値を作り出していく。

例) 銀行→インターネットバンキング  
⇒電子マネー  
⇒ネットショッピング



# 医療DXとは

## DXとは

DXとは、「Digital Transformation (デジタルトランスフォーメーション)」の略称で、デジタル技術によって、ビジネスや社会、生活の形・スタイルを変える (Transformする) ことである。

(情報処理推進機構DXスクエアより)

## 医療DXとは

医療DXとは、保健・医療・介護の各段階 (疾病の発症予防、受診、診察・治療・薬剤処方、診断書等の作成、診療報酬の請求、医療介護の連携によるケア、地域医療連携、研究開発など) において発生する情報やデータを、全体最適された基盤を通して、保健・医療や介護関係者の業務やシステム、データ保存の外部化・共通化・標準化を図り、国民自身の予防を促進し、より良質な医療やケアを受けられるように、社会や生活の形を変えることと定義できる。

疾病の  
発症予防

被保険者  
資格確認

診察・治療  
薬剤処方

診断書等  
の作成

診療報酬  
請求

地域医療  
連携

研究開発

## クラウドを活用した業務やシステム、データ保存の外部化・共通化・標準化

特定健診  
情報

資格情報

カルテ情報  
処方情報  
調剤情報

電子カルテ  
情報

診療情報  
提供書  
退院時サマリ  
行政への届出

診療報酬算定  
モジュール

オンライン資格確認  
マイナポータル活用

電子カルテ情報の標準化等

診療報酬  
DX

## 医療ビッグデータ 分析

NDB

介護DB

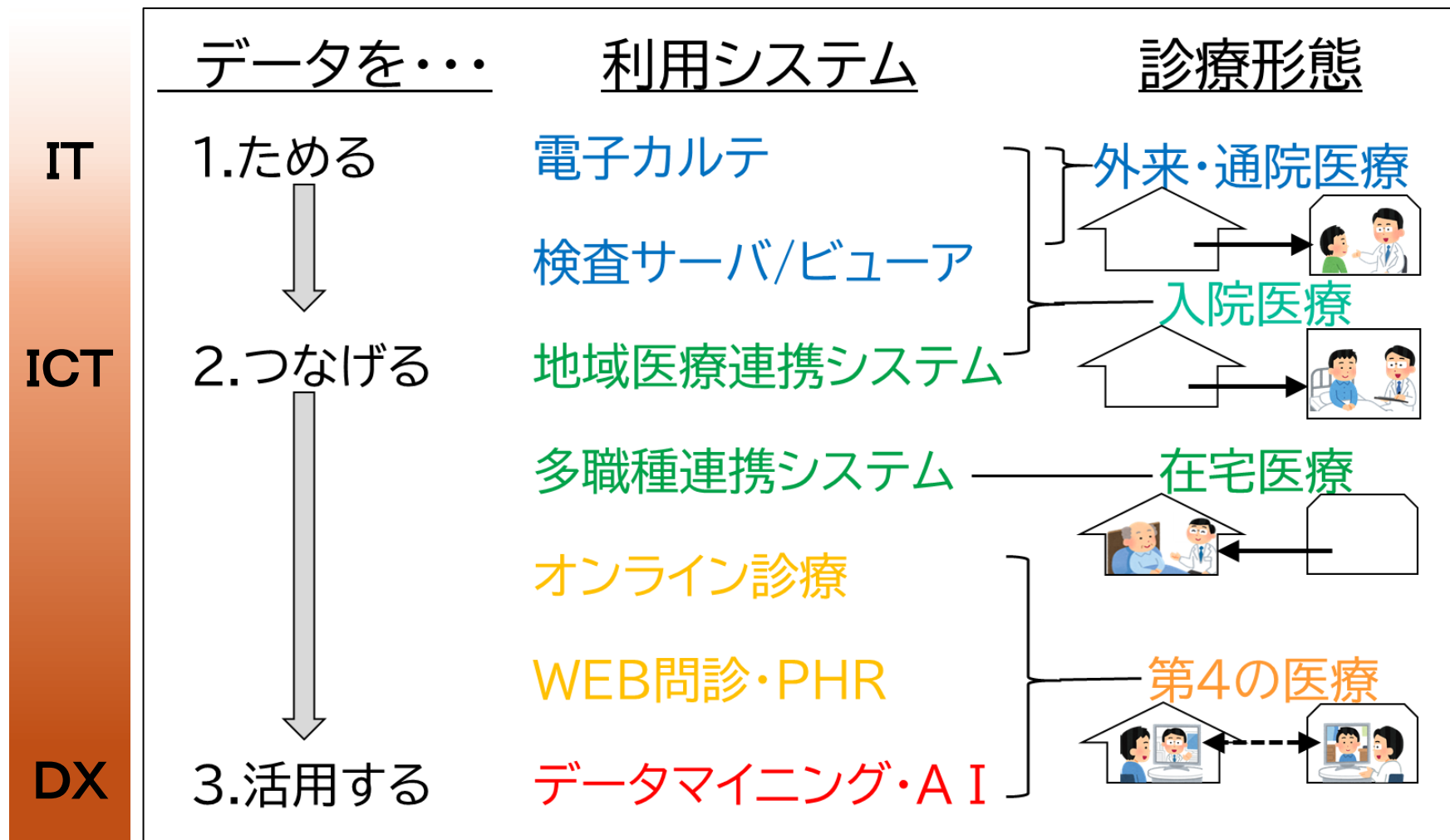
公費負担医療  
DB

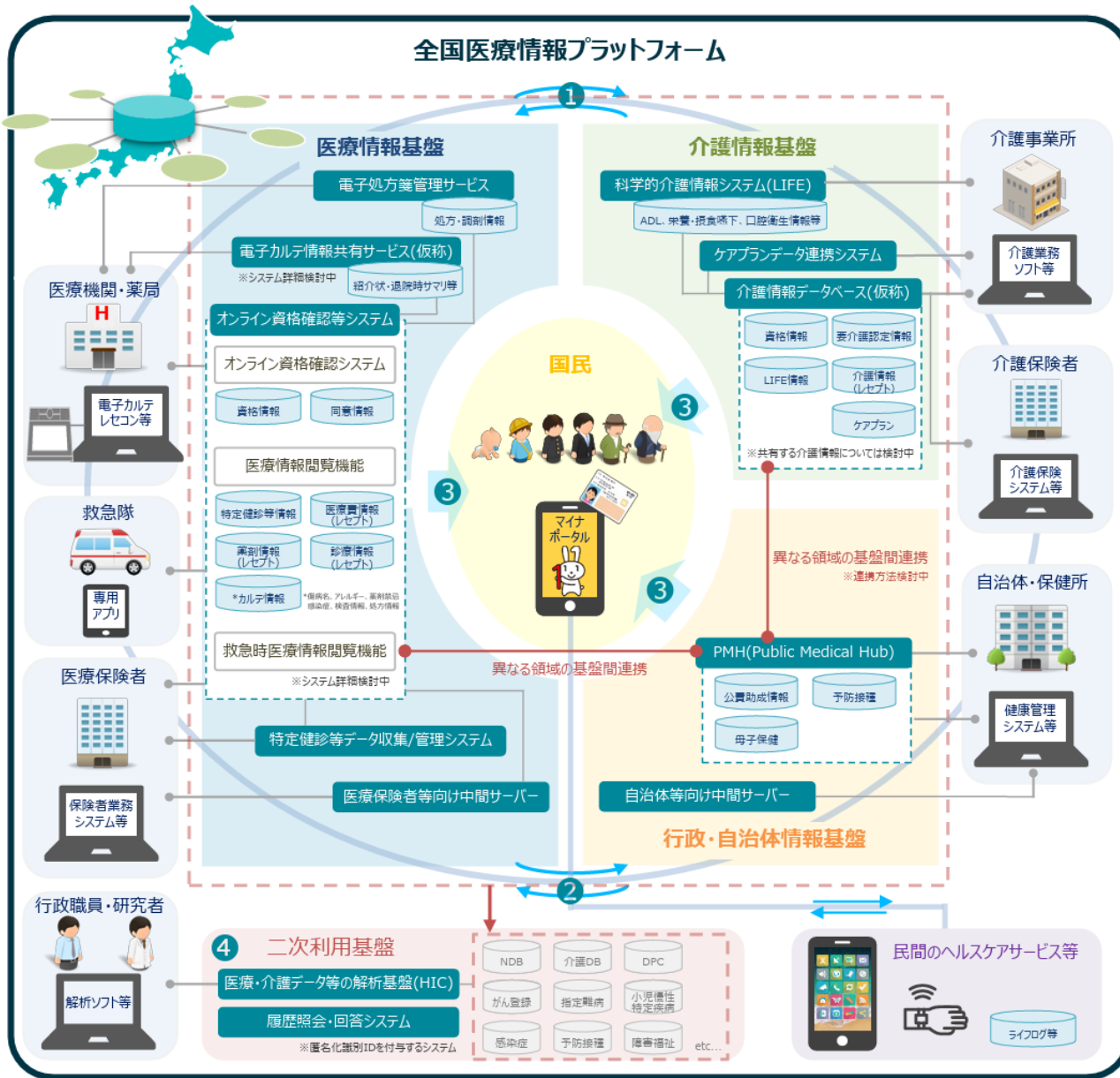
等

4

# 医療DXの概要

## ～利用システムと診療形態の変化～





「医療DXのユースケース・メリット例」

**1 救急・医療・介護現場の切れ目ない情報共有**

- ✓ 意識不明時に、検査状況や薬剤情報等が把握され、迅速に確かな治療を受けられる。
- ✓ 入退院時等に、医療・介護関係者で状況が共有され、より良いケアを効率的に受けられる。

救急隊 (意識不明による救急搬送中の確認)  
 医療機関・薬局 (救急医療入院中の確認)  
 介護事業所 (施設入所時・リハビリ中の確認)

**2 医療機関・自治体サービスの効率化・負担軽減**

- ✓ 受診時に、公費助成対象制度について、紙の受給者証の持参が不要になる。
- ✓ 情報登録の手間や誤登録のリスク、費用支払に対する事務コストが軽減される。

自治体 (公費助成情報の連携)  
 医療機関 (受診結果(母子保健) 接種記録等の連携)  
 患者 (持参不要, 手入力不要)

**3 健康管理、疾病予防、適切な受診等のサポート**

- ✓ 予診票や接種券がデジタル化され、速やかに接種動員が届くので能動的でスムーズな接種ができる。予診票・問診票を何度も手書きしなくて済む。
- ✓ 自分の健康状態や病態に関するデータを活用し、生活習慣病を予防する行動や、適切な受診判断等につなげることができる。

全国医療情報プラットフォーム (接種通知、患者サマリ情報等)  
 国民 (問診票・予診票入力、データ提供同意)

**4 公衆衛生、医学・産業の振興に資する二次利用**

- ✓ 政策のための分析ができることで、次の感染症危機への対応力強化につながる。
- ✓ 医薬品等の研究開発が促進され、よりよい治療的・確かな診断が可能になる。

二次利用データベース群(例)

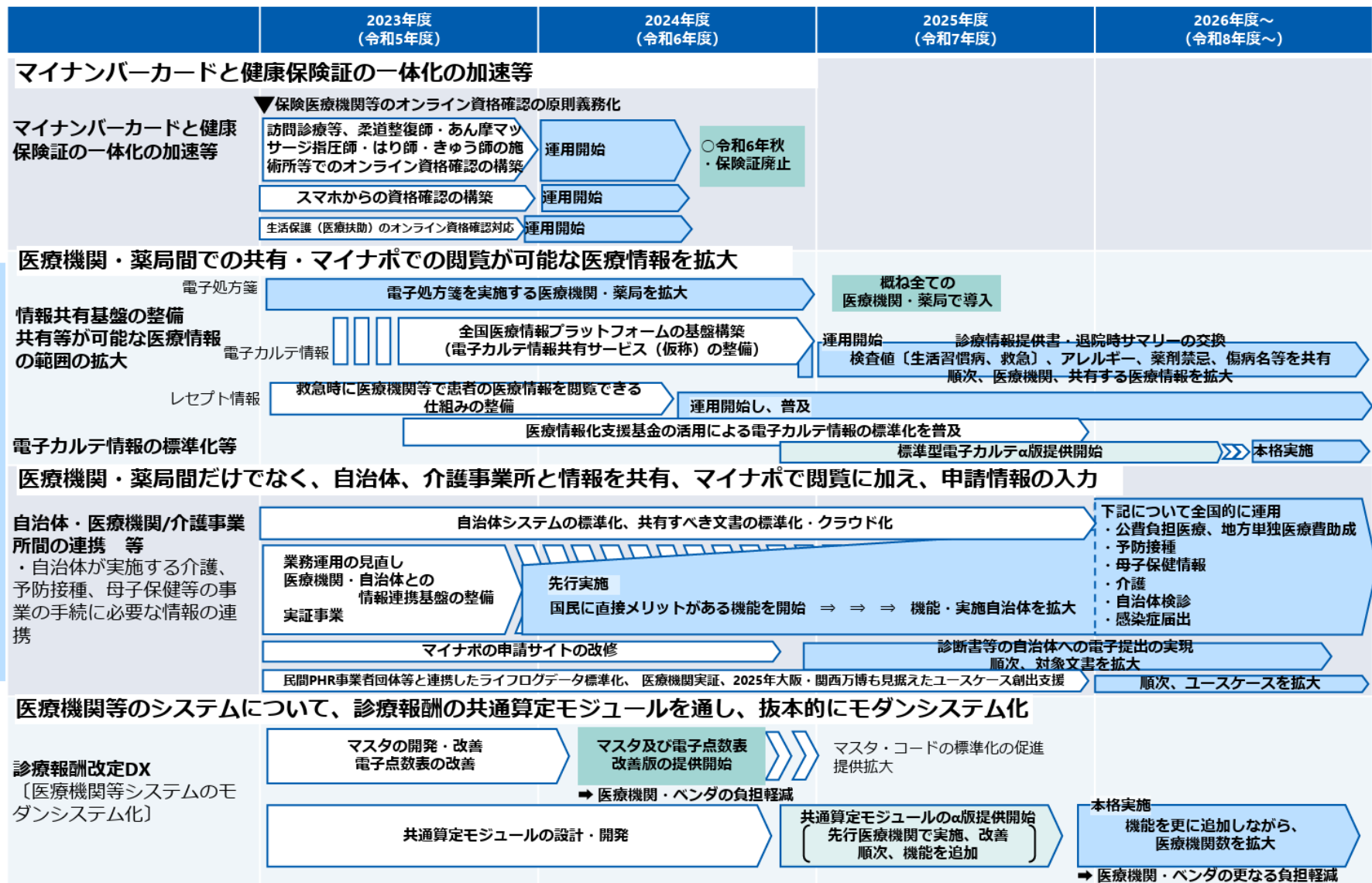
NDB, 介護DB, DPC, がん登録, 指定難病, 小児慢性特定疾病, 感染症, 予防接種, 障害福祉 etc...

各DBのデータ連携 → 解析基盤 → 行政職員・研究者 医薬品産業等

# 医療DXの推進に関する工程表〔全体像〕

令和5年6月2日 医療DX推進本部決定

全国医療情報プラットフォームの構築



# 電子カルテ情報共有サービスの今後の対応方針

## 【今後の対応方針】

- 全国での運用開始に向け、現在モデル事業で確認されている課題への対応を行う必要がある。
- モデル事業で明らかになった課題への対応を行うためには、電子カルテ情報共有サービス、対応する電子カルテ両者のシステムに一部改修を加えた上で、改めてシステムの動作確認、現場運用の検証を行うことが想定される。改修後に改めて検証にご協力いただく地域を選定し、検証を行うこととする。
- この検証を経て、致命的な課題がないことを確認の上、3文書6情報のうち臨床現場で支障なく運用が可能な文書・情報から、来年度（令和8年度）の冬頃をメドに全国で利用可能な状態にすること（運用開始）を目指す。

## 【スケジュール】



12 / 30

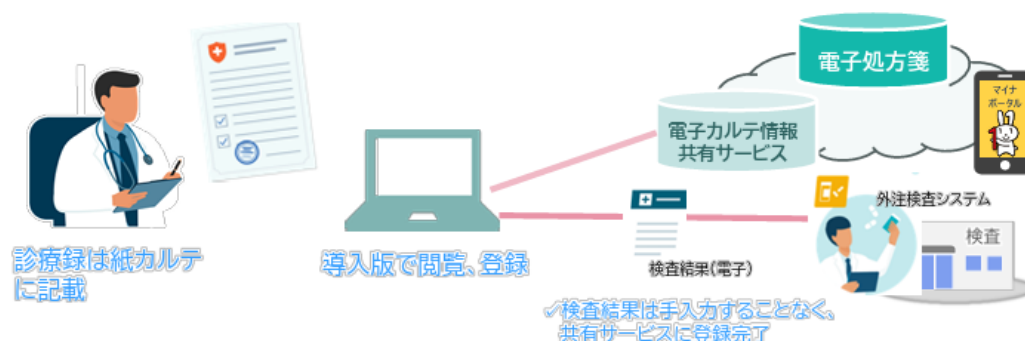
現在、開発中の医科無床診療所向けの標準型電子カルテ(クラウドネイティブ)の中で、  
国の医療DX対応機能に限定した「導入版」を開発中です。  
2026年度中の完成を目指しています。

厚生労働省・デジタル庁  
共同プロジェクト

## 標準型電子カルテ(導入版)のコンセプト

医療DX対応を中心とした画面構成で、クリック操作を主とする感覚的に使いやすいシンプルな画面設計です。  
紙カルテや現行の電子カルテの業務はそのままに、国の医療DXに対応できるようになります:

- 電子カルテ情報共有サービスを利用する病院や診療所からの「診療情報提供書」や「検査データ」を本アプリから閲覧可能になります。
- 本アプリに情報を入力すれば、「診療情報提供書」を病院や診療所に送付することや、電子処方箋の発行が可能になります。
- アプリと外注の検査機関を連携することで、自院の「検査データ」を国の電子カルテ情報共有サービスに簡単に登録できます。



受付一覧 < > 2026年3月8日

並び替え 受付時間(昇順)  受付済み  診療済み  会計済み  中止 絞り込み 診療科を選択

患者番号	受付時間	ステータス	患者氏名	共有状況	性別	生年月日	年齢	診療科	コメント
0000000500	09:00	受付済み	シカク イチロウ 資格 一郎	① 患共有 5件	男性	1980年1月15日	46歳1ヶ月	内科	会計後欠
0000000501	09:15	受付済み	シカク シロウ 資格 二郎	-	男性	1985年3月20日	40歳11ヶ月	内科	-
0000000502	09:30	受付済み	シカク キロウ 資格 三郎	-	女性	1990年5月10日	35歳9ヶ月	内科	移動補助
0000000503	09:45	受付済み	シカク シロウ 資格 四郎	-	男性	1992年7月25日	33歳7ヶ月	内科	-
0000000504	10:00	受付済み	シカク コロウ 資格 五郎	① 患共有 5件	女性	1998年9月30日	27歳5ヶ月	内科	-
0000000515	10:15	受付済み	デンシヨ ハナコ 電処 花子	-	女性	1980年1月15日	46歳1ヶ月	内科	-
0000000516	10:30	受付済み	デンシヨ テウゴ 電処 蝶子	-	女性	1985年3月20日	40歳11ヶ月	内科	-
0000000517	10:45	受付済み	デンシヨ フウコ 電処 風子	① 患共有 5件	女性	1990年5月10日	35歳9ヶ月	内科	-
0000000518	11:00	受付済み	デンシヨ ツキコ 電処 月子	-	女性	1992年7月25日	33歳7ヶ月	内科	-

検査結果 時系列表示

患者情報  
患者番号: 0000000500  
患者氏名: 資格 一郎  
性別: 男性  
年齢: 46歳1か月  
生年月日: 1980/01/15

基準値を表示 基準値外: **H** 基準値より高い **L** 基準値より低い

検査項目	項目で絞り込み (51)	2025年11月17日 09:30	2025年9月13日 11:00	2025年9月11日 13:00	2025年9月10日 12:00	2025年9月9日 20:54
総蛋白(TP)		-	-	10 g/dL	10 g/dL	-
中性脂肪(TG)		-	111 mg/dL	-	-	-
総ビリルビン(T-Bil)		0.6 mg/dL	-	-	-	-
血算-白血球数	白血球数	<b>H</b> 14.5 x10 <sup>3</sup> /μL	-	-	-	-
血算-赤血球数	赤血球数	510 x10 <sup>4</sup> /μL	-	-	-	-
血算-ヘモグロビン	血色素量(ヘモグロビン値)	<b>L</b> 11.0 g/dL	-	-	-	-
血算-血小板数	血小板数	20.0 x10 <sup>4</sup> /μL	-	-	-	-
C反応性蛋白(CRP)	CRP(定量)	<b>H</b> 3.5 mg/dL	-	-	-	-
	CRP(スコア)	陽性 スコア	-	-	-	-
TSH(CLEIA)IFCC		-	-	-	-	2.47
FreeT4 血清		-	-	-	-	0.88
副腎皮質刺激試験		-	-	-	-	24.0
コルチゾール(血清)		-	-	-	-	17.0
血糖値(空腹)		-	-	-	-	2.0

日付選択候補 選択中: 5件

- 直近5回分表示
- 2025年11月17日 09:30
- 2025年9月13日 11:00
- 2025年9月11日 13:00
- 2025年9月10日 12:00
- 2025年9月9日 20:54

シカク イチロウ 1980年1月15日 46歳1か月 ID:0000000500

患者情報 新規問診を入力 新規処方箋 診療情報提供書作成 検査結果入力 PACSを開く WebORCAに送信する

診療履歴	基本情報	傷病名	検査結果	診療/薬剤情報	診療情報提供書	特定健診情報
診療履歴一覧 絞り込み	受付日時: 2026年3月8日 (日) 09:00					
2026年3月8日 (日) 09:00	保険種別				変更履歴	
2026年3月7日 (土) 10:15	保険種別	[主]国保 [公1]特定負無 [公2]障害負無			2026年3月5日 15:46 登録	
2026年2月19日 (木) 09:00	処方箋	[主]国保 [公1]特定負無 [公2]障害負無			「新規処方箋」へ移動	
2026年1月31日 (土) 09:00	院外処方 (紙処方箋) 医師 デジタル					
2025年12月13日 (土) 09:00	RP.1 内服			アセトアミノフェン錠300mg「JG」 1日 3錠 (1回1錠) 【1日3回朝昼夕食後】 3日分		
2025年12月3日 (水) 09:00	RP.2 内服			カルボシステイン錠500mg「サワイ」 1日 3錠 (1回1錠) 【1日3回朝昼夕食後】 3日分		
2025年11月27日 (木) 09:00	RP.3 外用					

外部医療機関データ 取得日: 2026年03月08日 (11件)

他院の情報は24時間で見えなくなります。

**傷病名 注意事項 1**

**主** 高血圧症 (本態性 (原発性) < 一次性 >) 高血圧 (症)

開始日 ..... 2020年06月01日  
転帰 ..... 存続  
登録機関 ..... デジタル大学病院

**主** 耐糖能異常 (血糖値上昇)

開始日 ..... 2020年06月01日  
転帰 ..... 存続  
登録機関 ..... デジタル大学病院

**検査結果**

検体採取日時: 2025年11月12日 12:00 完了

**処方情報**

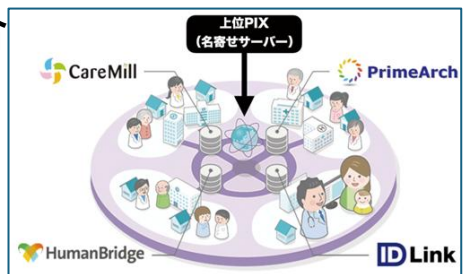
# 電子カルテ情報と さまざまなネットワーク



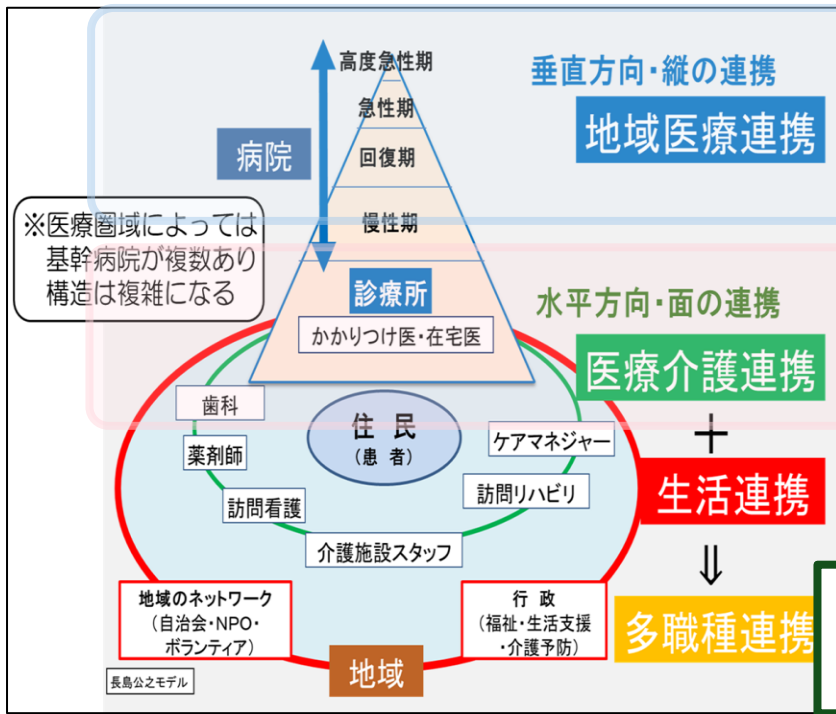
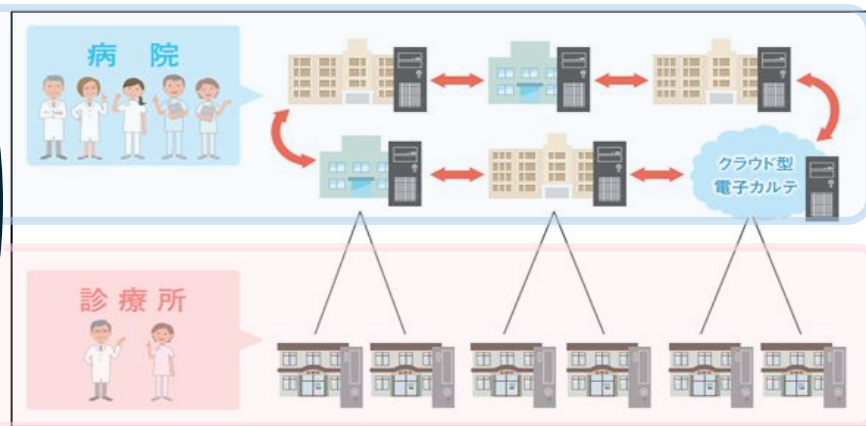
**全国医療情報  
プラットフォーム**

東京都は「東京総合  
医療ネットワーク」

**地域医療連携  
ネットワーク**



電子カルテ  
情報



**多職種連携  
ネットワーク**

市区町村で行う  
多職種連携ネットワーク

静的データ

全国医療情報  
プラットフォーム

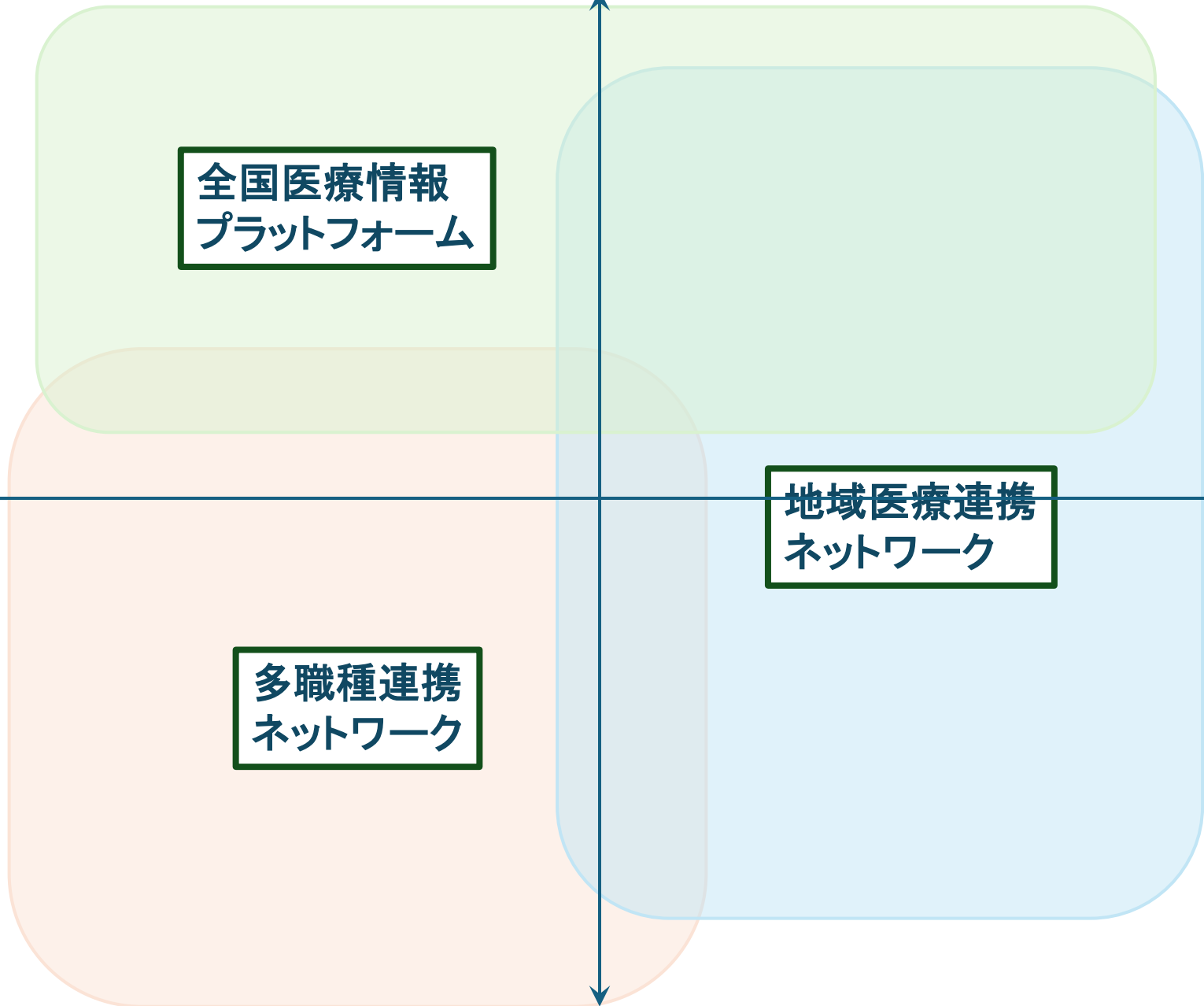
地域医療連携  
ネットワーク

多職種連携  
ネットワーク

動静的データ

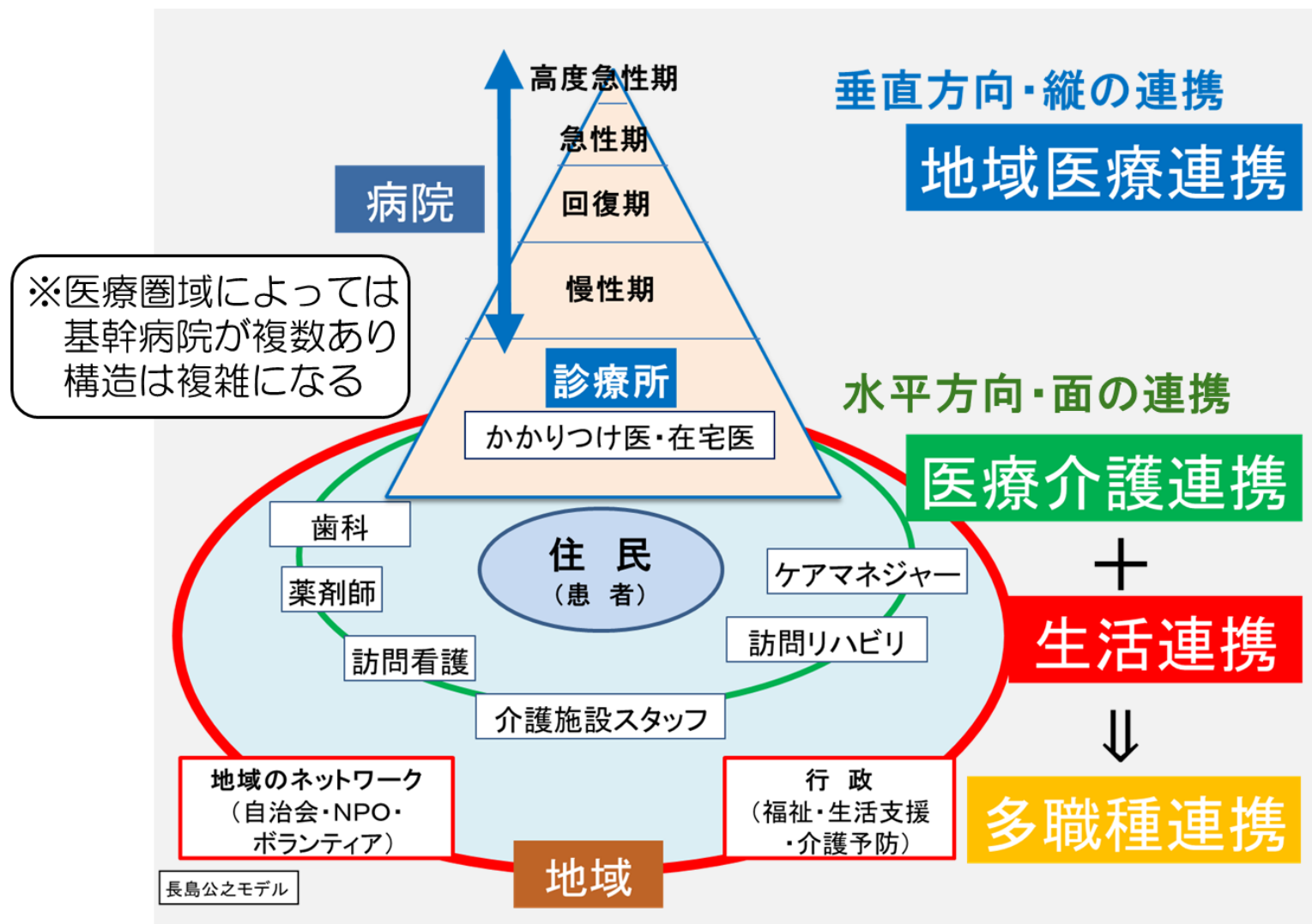
介護

医療



# 医療機関における医療DXへの道

## ～地域医療連携と多職種連携～



## 在宅医療におけるICTを用いた連携の推進

- ▶ 在宅で療養を行っている患者等に対し、ICTを用いた連携体制の構築を通じて、質の高い在宅医療の提供を推進する観点から、**医療・ケアに関わる関係職種がICTを利用して診療情報を共有・活用して実施した計画的な医学管理を行った場合の評価、患者の急変時等に、ICTを用いて関係職種間で共有されている人生の最終段階における医療・ケアに関する情報を踏まえ、療養上必要な指導を行った場合の評価等**を実施。



## 在宅医療におけるICTを用いた連携の推進①

### 在宅医療情報連携加算の新設

- 他の保険医療機関等の関係職種がICTを用いて記録（以下、単に「記録」とする。）した患者に係る診療情報等を活用した上で、医師が計画的な医学管理を行った場合の評価を新設する。

### **（新）在宅医療情報連携加算（在医総管・施設総管・在宅がん医療総合診療料） 100点**

#### 〔算定要件〕（概要）

- 医師が、医療関係職種等により記録された患者の医療・ケアに関する情報を取得及び活用した上で、計画的な医学管理を行うこと及び医師が診療を行った際の診療情報等について記録し、医療関係職種等に共有することについて、患者からの同意を得ていること。
- 以下の情報について、適切に記録すること
  - 次回の訪問診療の予定日及び当該患者の治療方針の変更の有無
  - 当該患者の治療方針の変更の概要（変更があった場合）
  - 患者の医療・ケアを行う際の留意点（医師が、当該留意点を医療関係職種等に共有することが必要と判断した場合）
  - 患者の人生の最終段階における医療・ケア及び病状の急変時の治療方針等についての希望（患者又はその家族等から取得した場合）
- 医療関係職種等が当該情報を取得した場合も同様に記録することを促すよう努めること。
- 訪問診療を行う場合に、過去90日以内に記録された患者の医療・ケアに関する情報（当該保険医療機関及び当該保険医療機関と特別の関係にある保険医療機関等が記録した情報を除く。）をICTを用いて取得した情報の数が1つ以上であること。
- 医療関係職種等から患者の医療・ケアを行うに当たっての助言の求めがあった場合は、適切に対応すること。

#### 〔施設基準〕（概要）

- (1) 患者の診療情報等について、連携する関係機関とICTを用いて共有し、常に確認できる体制を有しており、共有できる体制にある連携する関係機関（特別の関係にあるものを除く。）の数が、5以上であること。
- (2) 地域において、連携する関係機関以外の保険医療機関等が、当該ICTを用いた情報を共有する連携体制への参加を希望した場合には連携体制を構築すること。ただし、診療情報等の共有について同意していない患者の情報については、この限りでない。
- (3) 厚生労働省の定める「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」に対応していること。
- (4) (1)に規定する連携体制を構築していること及び実際に患者の情報を共有している実績のある連携機関の名称等について、当該保険医療機関の見やすい場所に掲示及び原則としてウェブサイトに掲載していること。



- 診療情報、治療方針
- 医療関係職種等が医療・ケアを行う際の留意事項
- 人生の最終段階における医療・ケア等に関する情報等の情報共有

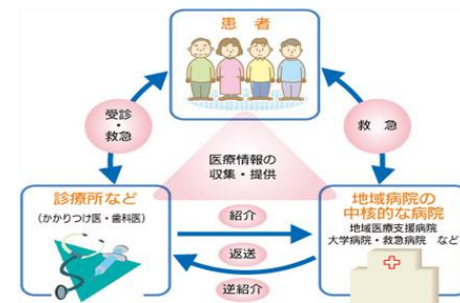
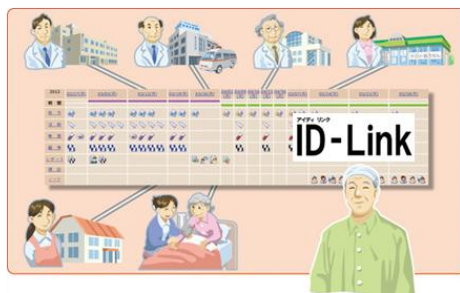
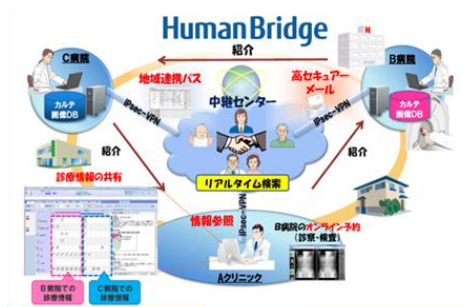
8

# 医療機関における医療DXへの道

## ～地域医療連携と多職種連携～

### 地域医療連携システム

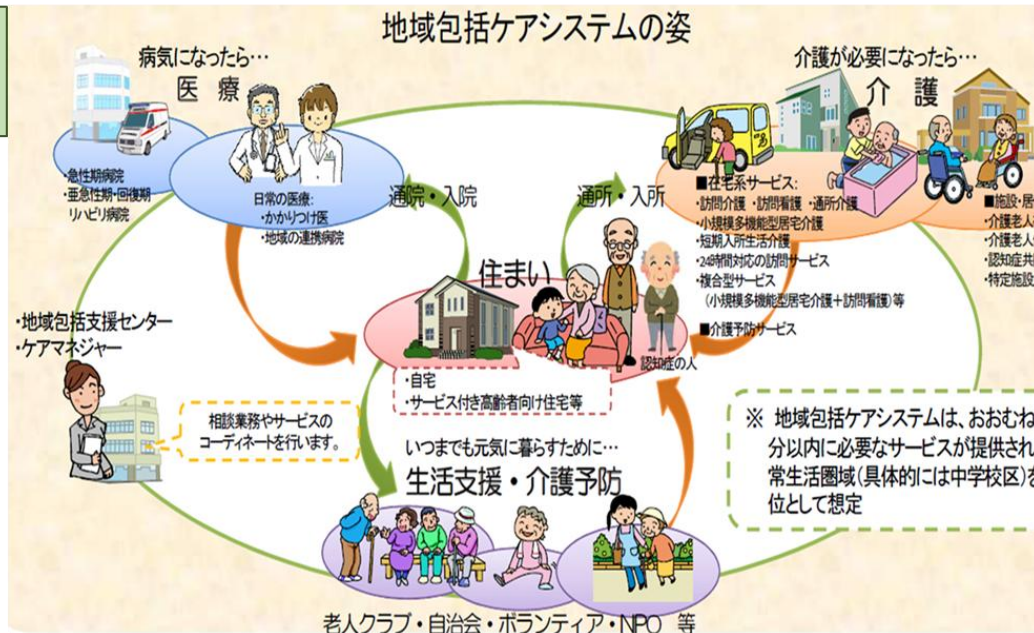
地域の医療機関同士で医療情報を共有するシステム



### 医療介護連携システム ≡ 多職種連携システム

在宅の現場で医療と介護に関わる多職種において連携(融合)するシステム

地域包括ケアシステムの構築において行政、福祉、患者/家族、ボランティア、NPOなどとも連携して、コミュニケーション情報や生活情報を共有する



東京都の地域医療を支援する

# 東京総合医療ネットワーク

【お問い合わせ】  
TEL:03-5217-0896

情報閲覧回数 20,089 人  
[ 2026年1月31日時点 ]

開示施設 : 50 施設  
閲覧施設 : 65 施設  
[ 2026年3月1日時点 ]

🏠 ホーム

参加するには

お知らせ

よくあるご質問



## ビジョン



## 仕組み



## 運営体制



## 参加病院・診療所一覧



## 会員施設専用ページ



## 賛助会員



## お問い合わせはこちらから



# カルテをつなぐ 人をつなぐ

つながれば、医療はもっと便利に。  
ひろがれば、安心はもっと身近に。  
もう始まっています、  
東京の未来を支える医療ネットワーク。



## 都民の皆さまへ

ネットワークでもっと安心  
快適な医療を



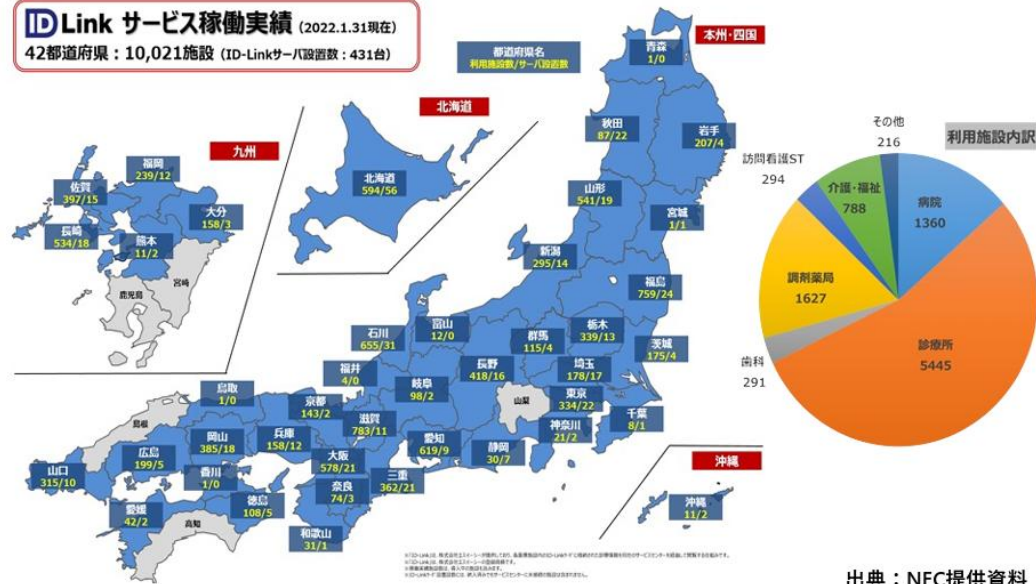
## 東京総合医療 ネットワークの歩み



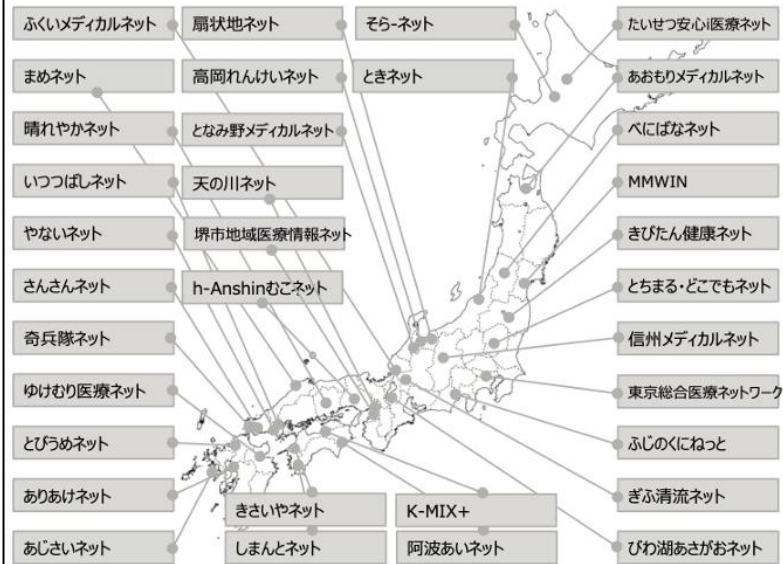
カルテをつなぐ、人をつなぐ 東京総合医...  
きな病院で  
専門的な治療を

## 地域内での情報共有は個々に進化し始めている NEC「IDLink」稼働実績

**IDLink サービス稼働実績** (2022.1.31現在)  
42都道府県：10,021施設 (ID-Linkサーバー設置数：431台)



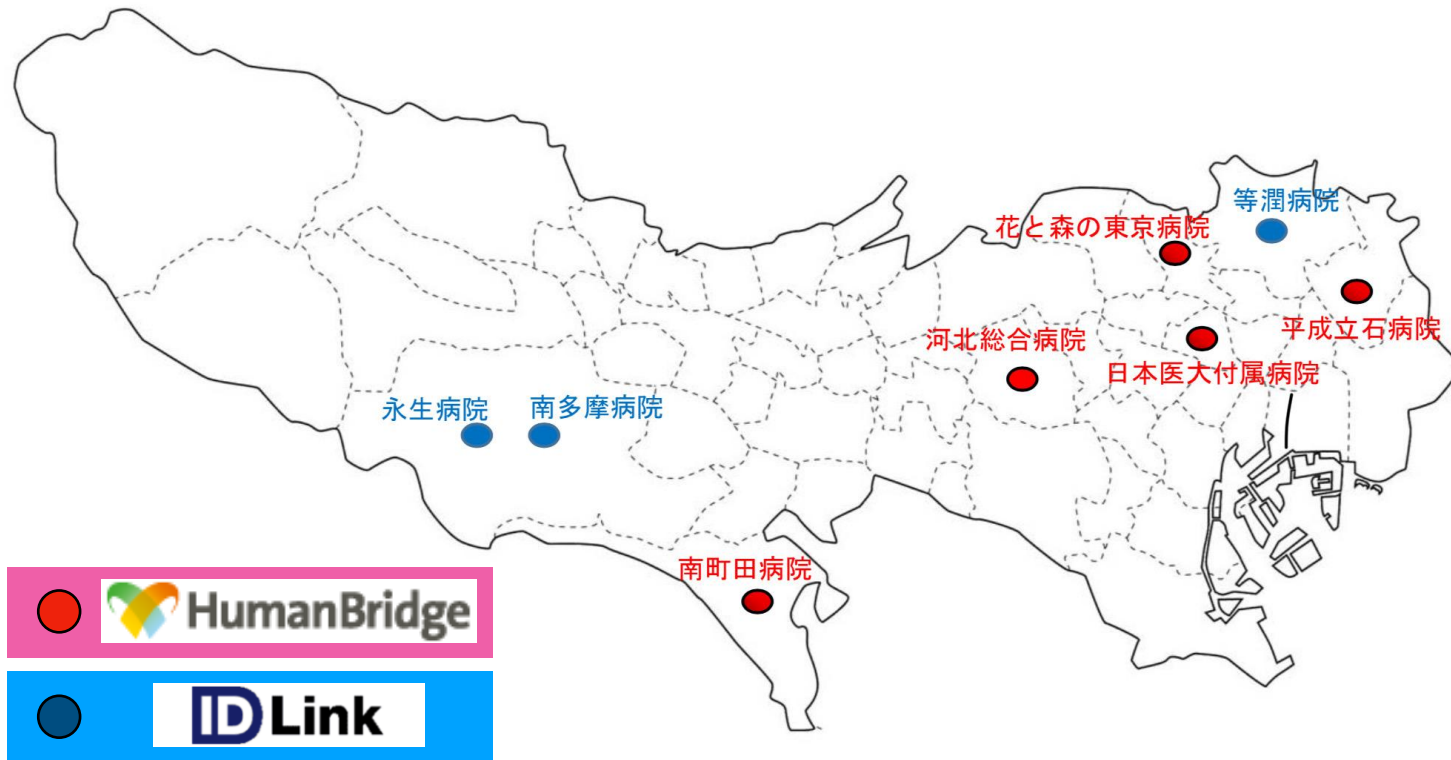
## 地域内での情報共有は個々に進化し始めている 富士通「HumanBride」稼働実績



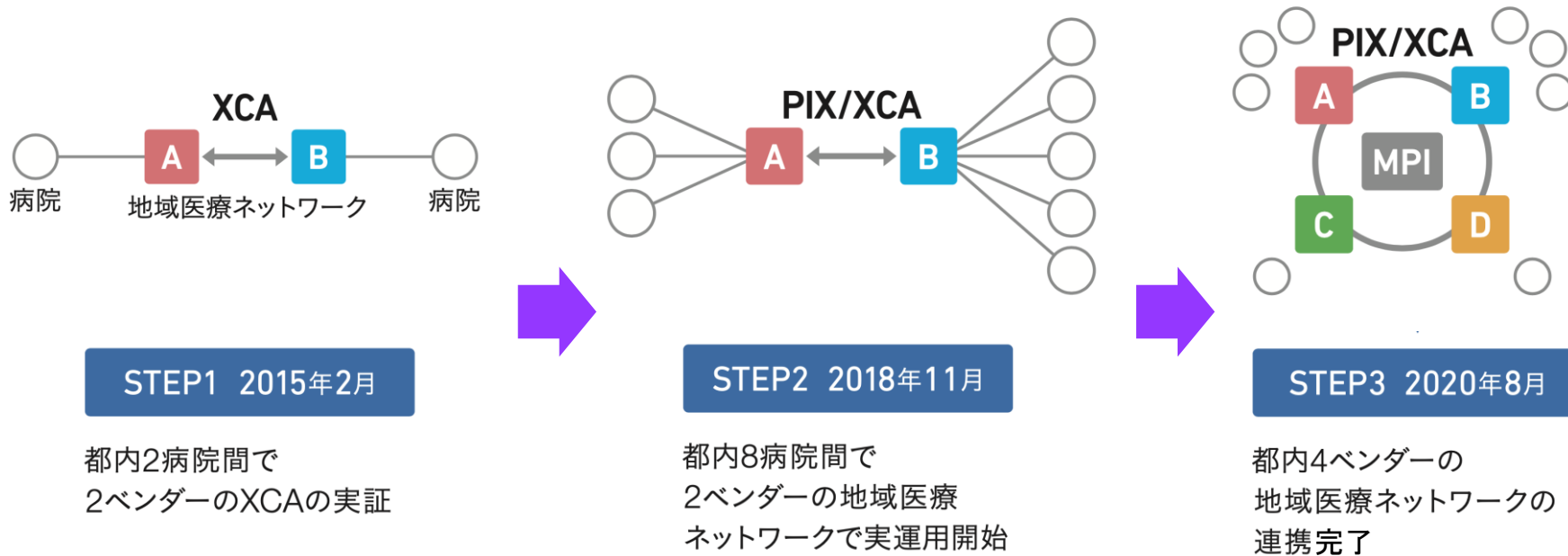
1,824  
診療所  
6,775  
調剤薬局  
1,149  
訪看・介護  
1,121  
その他  
65  
合計  
**10,934**

出典：富士通提供資料

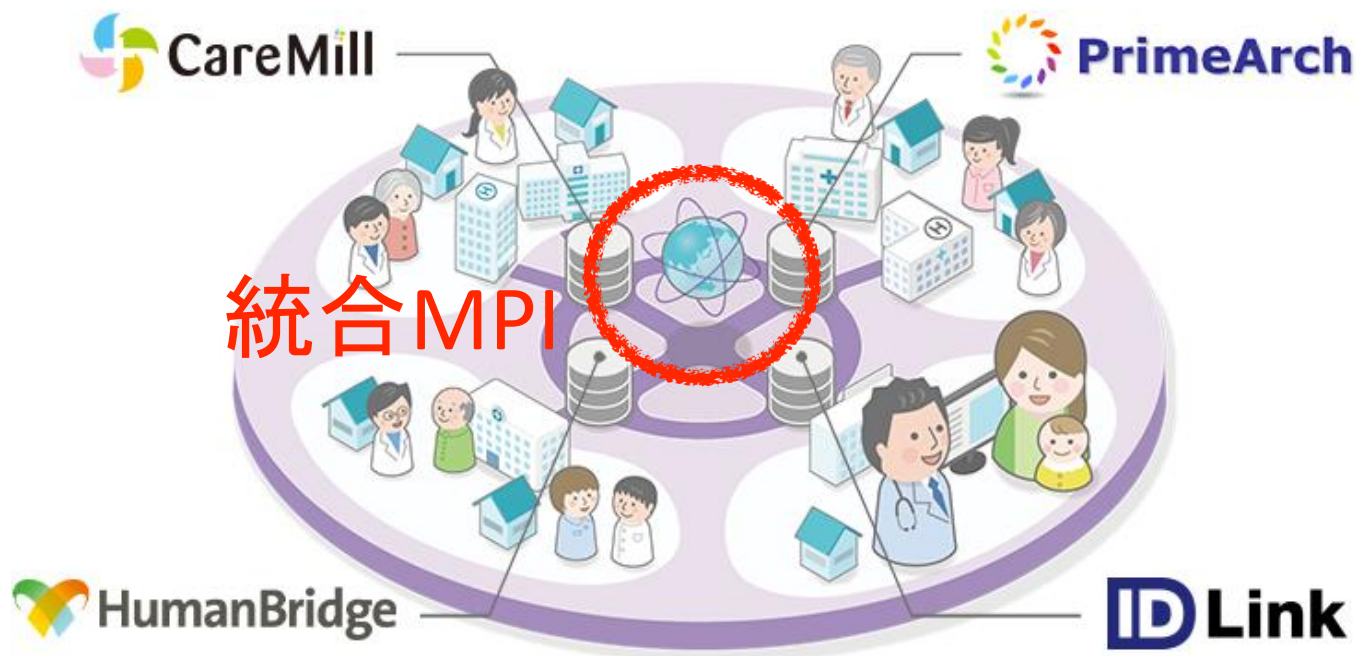
# 2018年11月に8病院で本格運用開始



# 年月をかけて接続方法を進化させてきました



4つの異なる電子カルテ連携システムを  
標準規格（IHE）で結び、ひとつの名寄せで  
相互の患者データ交換をおこなう方式です





MEMBER LOGIN

ID

Password



Home > 連携患者選択 >

ようこそ 土屋 淳郎(土屋医院) 様

ログアウト

連携登録一覧

救急時患者検索

患者情報検索

個人情報検索

職員情報検索

プロフィール

マニュアル一覧

施設情報確認

証明書ダウンロード

受け入れ可能状況一覧

患者 ID



連携患者選択

連携患者一覧を表示しています。(最大患者数:1,000)

患者を選択すると、カレンダー表示を行います。

絞り込み条件:

連携患者数: 67

< 1/7 >

患者ID	漢字名	カナ名	英語名	性別	生年月日	現住所	電話番号(現住所)	操作者
			N/A	女性			03-1-	

カレンダー表示

文書一覧

施設情報確認

画像・波形一覧

ファイル一覧

期間一覧

フェイスシート

サマリービュー(投薬歴/注射歴)

サマリービュー(検査結果時系列)

サマリービュー(病名・アレルギー)

全国 ID-Link EHR

Storage管理

患者 ID

アレルギー公開情報あり

ブックマーク付きのみ表示

年 月 日 今日へ移動

期間	05	06	07	08	09	10	11	12	01	02
処方										
注射										
検査										
画像										
レポート										
ファイル										
記録										
ノート										

名称 T1	2025/06/26	2025/07/02	2025/08/21
ドンペリドン錠10mg 「IG」			
カロナール錠200mg			
アムロジピンOD錠5mg 「トーフ」			
センノシド錠12mg 「サワイ」			
パファリン配合錠A 81			
フロセミド錠20mg 「NP」			
タケキャブ錠20mg	1錠	1錠	1錠
リクシアンOD錠30mg		1錠	
オルメサルタンOD錠20mg 「DSEP」			
シクロフェナクナトリウム坐剤50mg 「IG」			
シアノコバラミン点眼液0.02% 「ネットー」			1錠
ダーブロック錠2mg	2錠	2錠	1錠
ビレノキシシン痙攣性点眼液0.005% 「参天」 F=1			1錠

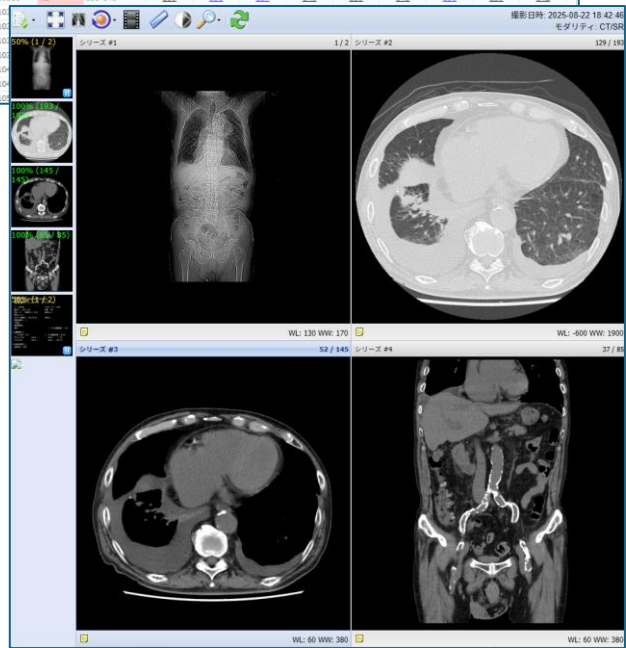
フェイスシート(プレビュー版) 投薬歴/注射歴 検査結果時系列 病名・アレルギー

コード 東京都立豊島病院コーカスコード

表示期間 1年

時系列検査表示 チェック表示

コード T1	名称 T1	基準値	2025/06/2	2025/06/2	2025/06/2	2025/06/2	2025/06/2	2025/06/2	2025/06/2	2025/06/2	2025/06/2	2025/06/2	2025/06/2	2025/06/2	2025/06/2	2025/06/2	2025/06/2	2025/06/2	
610132	ALP(FPC)	39-113	115																
610140	y-GTP	13-64	61	55	54	52	50	47	42*	43	41								
610160	CRE	240-486								130									
610170	CK	59-248								24*	25	29							
610200	AMY	44-132	112	80	62	52	52	55	32*	51	52								
610210	T-CHO	150 - 219																	
610220	TG	50 - 149																	
610230	HDL-C	40 - 86																	
610240	LDL-C	70 - 139																	
610250	血糖	73-109																	
610260	血圧(座)	73-109	209	111	119	116	107	114		119	106	111							
610270	UN	8-20	26.4	23.3	22.6	22.6	25.4	16.4	12.8*	9.5	12.6								
610280	CRE	0.65-1.07	1.35	1.10	1.26	1.18	1.11	1.19	1.03*	0.92	1.06								
610290	UA	3.7-7.8																	
610310	Na	138-145	139	136	137	140	139	145	136*	139	142								



# 機能拡張 1 : 患者メモ・ノート機能を用いた汎用データ交換

	文書種別 コード	項目内容	同一ベンダー間 の連携	異なるベンダー間 の連携	
1	ADT-22	入院日情報	●	●	2022年12月実現
2	ADT-52	退院日情報 <sup>(※1)</sup>	●	●	
3	ADT-61	アレルギー情報	●	●	
4	PPR-01	病名情報	●	●	2021年9月実現
5	OMP-01	処方オーダー情報	●	●	
6	OMP-02	注射オーダー情報	●	●	
7	OMP-12	注射実施情報	●	×	
8	OML-01	検体検査結果	●	●	
9	—	経過記録(拡張ストレージ)	●	—	
10	—	各種レポート(拡張ストレージ)	●	—	
11	—	DICOM画像(XCA- I)	●	—	
12	—	退院サマリ	●	●	2023年4月実現
13	—	患者メモ・ノート	●	●	

●連携可能項目 / ○今後連携が可能となる項目 / ×閲覧未対応項目 / —標準接続が未整備の項目

患者メモ

アップロードした職種のアイコンが表示

ノート

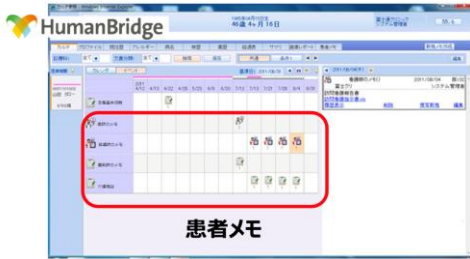


①、カレンダーの○をクリックすると、詳細画面に遷移します。

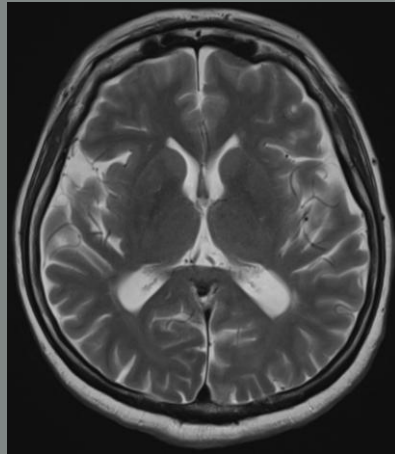
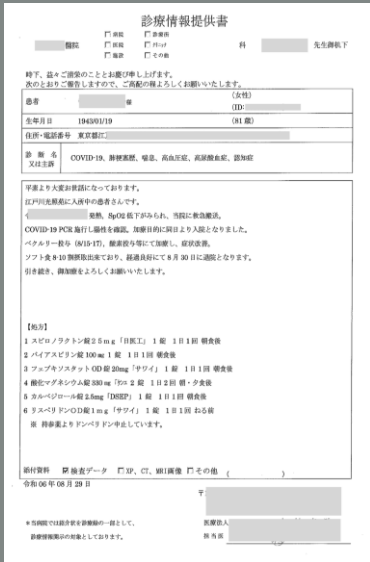
②、詳細画面でアイコンをクリックすると、モーダルに詳細が表示されます。

①カレンダーの○をクリックすると、詳細画面に遷移します。

②詳細画面でリンクをクリックすると、添付ファイルが表示されます。



## 患者メモ・ノート機能を用いた汎用データ交換

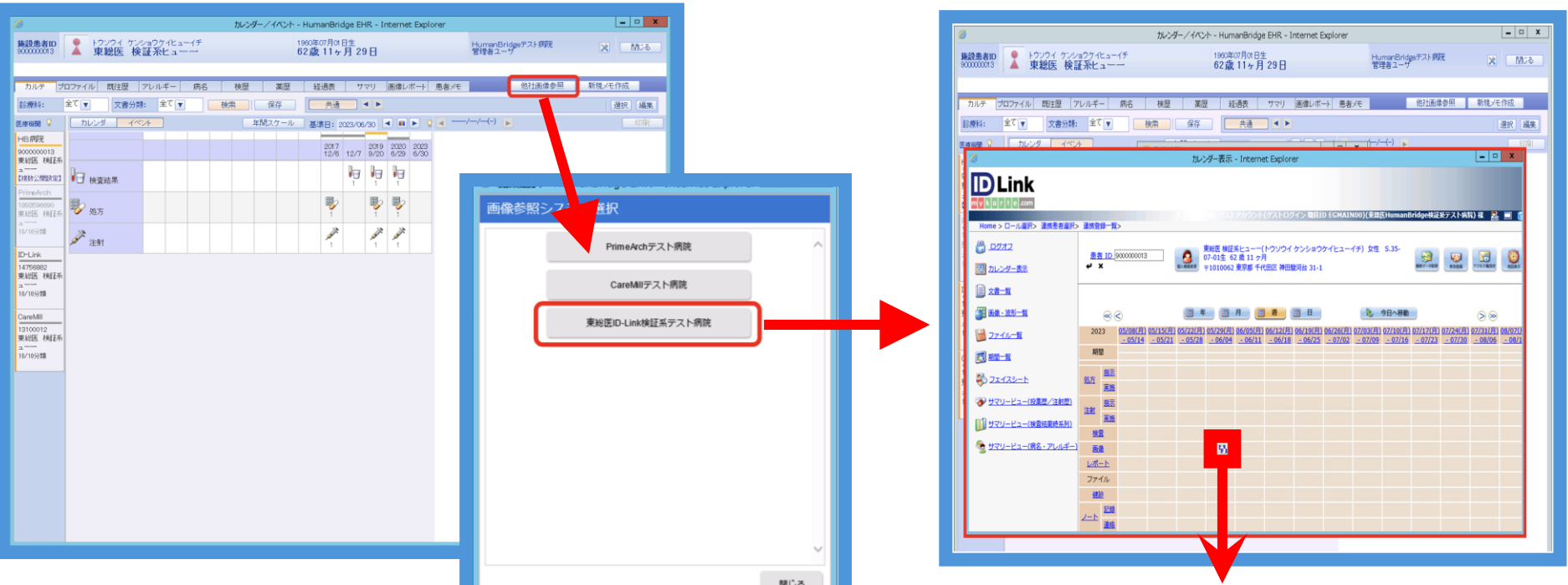


文書やキー画像などをJPEG・GIF・PNG・PDFで交換します

## 機能拡張 2 : 閲覧先画像ビューワの遠隔表示

	文書種別 コード	項目内容	同一ベンダー間 の連携	異なるベンダー間 の連携	
1	ADT-22	入院日情報	●	●	2022年12月実現
2	ADT-52	退院日情報 <sup>(※1)</sup>	●	●	
3	ADT-61	アレルギー情報	●	●	2021年9月実現
4	PPR-01	病名情報	●	●	
5	OMP-01	処方オーダー情報	●	●	
6	OMP-02	注射オーダー情報	●	●	
7	OMP-12	注射実施情報	●	×	
8	OML-01	検体検査結果	●	●	
9	—	経過記録(拡張ストレージ)	●	—	
10	—	各種レポート(拡張ストレージ)	●	—	
11	—	DICOM画像(XCA- I)	●	●	2025年3月実現
12	—	退院サマリ	●	●	2023年4月実現
13	—	患者メモ・ノート	●	●	

●連携可能項目 / ○今後連携が可能となる項目 / ×閲覧未対応項目 / —標準接続が未整備の項目



HumanBridgeの画面から、  
ID-LINKの画像ビューワーを  
閲覧できる仕組み



# 実証実験の様子



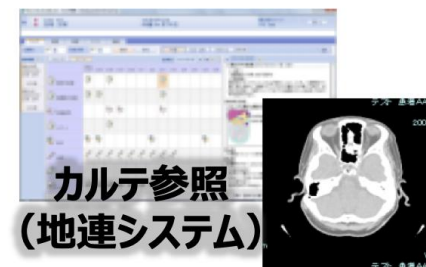
土谷純一(m3.com)、「異なる電カル同士でも画像閲覧可能に、都総合医療ネット」、2024年8月16日、<https://www.m3.com/news/iryoshin/1228568> (2025年9月参照)

日本医大病院から都立豊島病院の電子カルテに東総医療ネット経由でアクセスし、双方で同じ画像を表示することが可能なことを確認  
異なるベンダーの画像閲覧が可能になる(一部検証中)

# 機能拡張 3 : 救急時カルテ公開機能

(1) ”ベンダごと”の救急時カルテ参照の運用開始に向けて

- ① HumanBridge同士(ドメイン越え)  
日本医大 - いずみ記念病院
- ② ID-Link同士(EMS機能)



(2) ”ベンダ横断”での救急時カルテ参照の

運用開始に向けた技術的検討

- ① 実現方式の検討  
各製品で実装されている機能の有無  
東総医におけるデータ連携を考慮  
→ 対応を継続検討中

中核病院  
(情報提供施設)



2次救急



搬送先

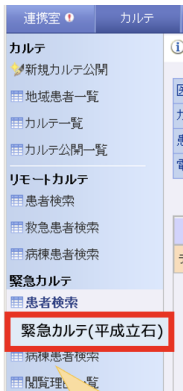


3次救急

# (1) ① HumanBridge 病院同士で担当医自身による 簡単な登録での運用が始まる

電話連絡を取りながら  
紹介先病院のドクター  
を登録します

## ① 電子カルテからHumanBridgeを起動



② 緊急カルテ（平成立石）  
のメニューを選択

別ドメインの画面が起動

ドメインごとにメニューが  
追加されていくイメージとなります  
(権限を有している利用者のみ、  
表示されます)

## ③ 電話連絡された患者IDを入力

カナ氏名	患者氏名	性別	年齢	生年月日	施設患者ID
テスト 06ネン09ガツ012	テスト 06年09月01日	男	73	1939/04/20	600000012

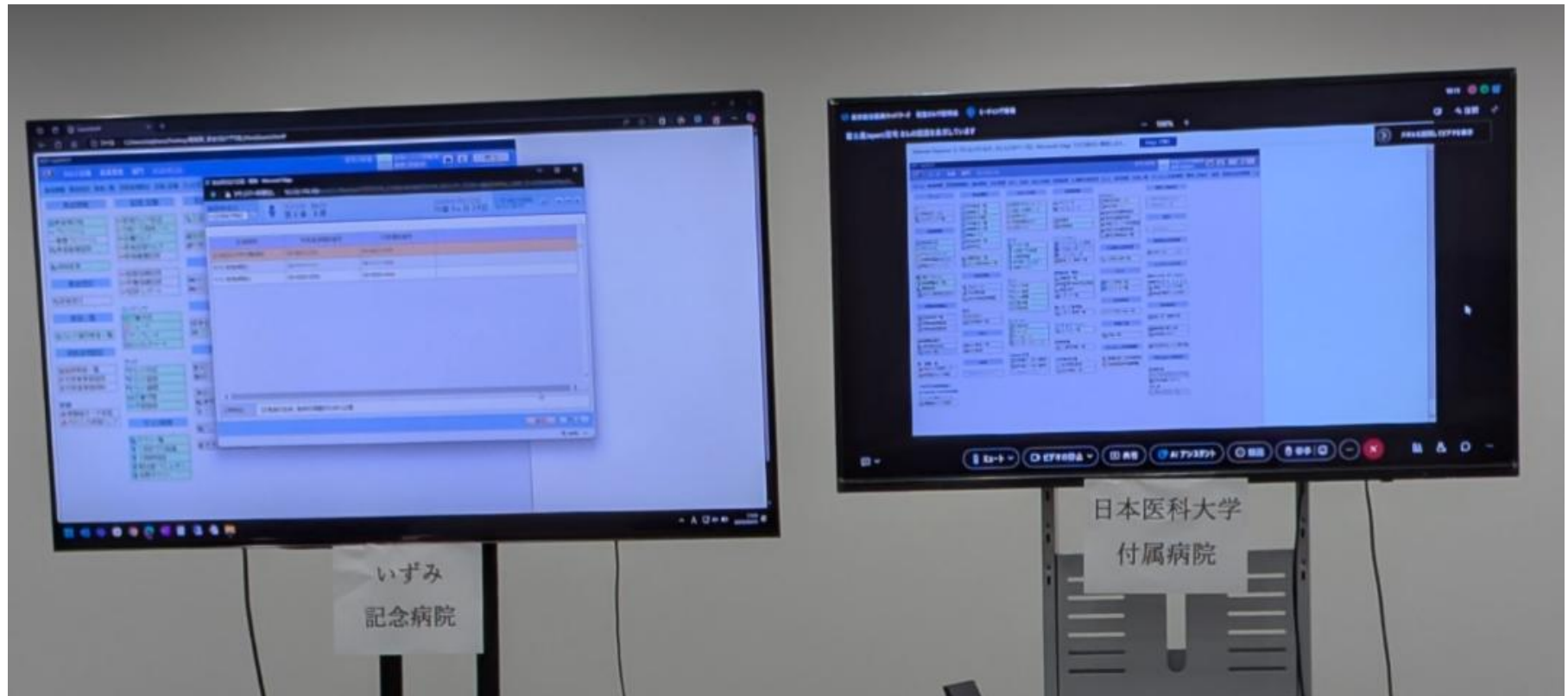
## ④ 閲覧理由を入力

「患者の生命、身体保護のために必要」

## ⑤ 他ドメインの医療機関のカルテを参照



# (1)①HumanBridge:実証実験の様子



- 日本医大病院といずみ記念病院で実証実験を実施し、操作を確認
- 緊急時に他方へアクセスしカルテデータ表示が可能なことを確認
- 「救急時カルテ公開機能説明会」を2026年1月に実施予定

# (1) ②ID-Linkの病院同士は標準機能EMSが使えます

## EMS機能：患者IDだけで即連携可能！

EMS機能とは開示施設の患者ID番号が分かれば連携患者登録が出来る機能です。

自動で患者IDとアクセス権が付与されるので、救急や診療時間外など即座に開示施設の情報を見たい緊急時に役立ちます。

The screenshot shows the ID-Link web application interface. At the top, the '患者 ID' field contains '00998877@ems'. A red box highlights this field, with an arrow pointing to a larger text box that says '患者 ID 00998877@ems'. Below this, a blue arrow points to the '連携患者選択' (Select linked patient) section. A red text overlay reads '患者ID欄に「患者ID@ems」と入力すると...' (When you enter 'Patient ID@ems' in the patient ID field...). A white pop-up window indicates 'データ取得中' (Data retrieval in progress) and '救急患者の情報を取得しています。' (Retrieving emergency patient information.). The main interface shows a calendar view for patient data, with a blue arrow pointing to the text '自動で患者さんの基本情報が登録され、開示施設の情報が見え可能' (Basic patient information is automatically registered, and information from the disclosing facility is viewable).

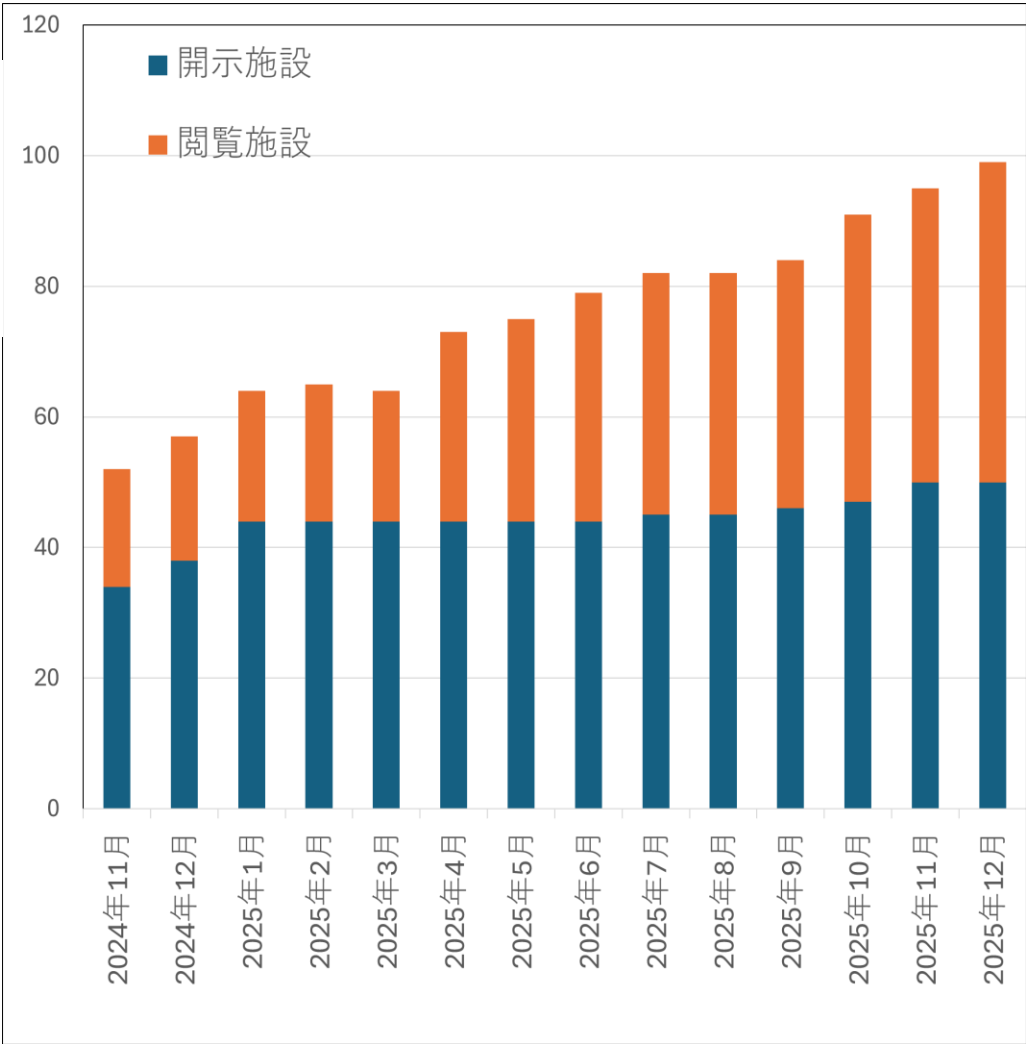
能登地方地震の際には  
非常に役立ったと報告

# 東京総合医療ネットワーク会員数

→この1年で大きく増加している  
(閲覧施設が多くなっている)

情報閲覧回数 **20,089** 人  
[ 2026年1月31日時点 ]

開示施設 : 50 施設  
閲覧施設 : 65 施設  
[ 2026年3月1日時点 ]





# 医療DX・オンライン診療に係る全体像



- 医療DX関連施策の進捗等を踏まえ、医療DX推進体制整備加算・医療情報取得加算を廃止し、マイナ保険証の利用、電子処方箋、電子カルテ共有サービス、サイバーセキュリティ対策等に係る新たな評価を新設する。
- オンライン診療について、各種形態のオンライン診療を適正に推進する観点から、情報通信機器を用いた診療の施設基準の見直し、D to P with Nによるオンラインの評価の明確化、遠隔連携診療料の評価の拡大、情報通信機器を用いた医学管理等の評価の新設・見直しを行う。

## 医療DXに係る評価

- 医療DXやICT連携を活用する医療機関・薬局の体制の評価

**(新) 電子的診療情報連携体制整備加算**

初診時	1/2/3	15点/9点/4点
再診時		2点
入院時	1/2	160点/80点



**(新) 電子的歯科診療情報連携体制整備加算**

初診時	1/2	9点/4点
再診時		2点

**(新) 電子的調剤情報連携体制整備加算 8点**

- 電子処方箋システムによる重複投薬等チェックや救急時医療情報閲覧機能の利活用の推進

**(新) 救急時医療情報取得加算 50点**  
**(新) 遠隔電子処方箋活用加算 10点**



## オンライン診療に係る評価

- **情報通信機器を用いた診療の施設基準の見直し**
  - ・ チェックリストのウェブサイトへの掲示
  - ・ 医療広告安全ガイドラインの遵守

- **D to P with Nのオンライン診療の評価の明確化**

**(新) 訪問看護遠隔診療補助料 (1日につき)**

医師と同一の医療機関の看護師等	265点
訪問看護ステーションの看護師等	2,650円

**(新) 看護師等遠隔診療検査実施料・看護師等遠隔診療処置実施料**  
 1種類/2種類以上 100点/150点

**(新) 看護師等遠隔診療注射実施料 100点**

- **遠隔連携診療料の評価の拡大 (D to P with D)**  
 遠隔連携診療料  
 外来診療/訪問診療/入院診療 900点/900点/900点

- **情報通信機器を用いた医学管理等の評価の新設・明確化**

(新設) 在宅療養指導料、プログラム医療機器等指導管理料  
 在宅振戦等刺激装置治療指導管理料  
 (明確化) 外来栄養食事指導料

# 電子的診療情報連携体制整備加算の新設①

## 電子的診療情報連携体制整備加算の新設①

- 医療DX関連施策の進捗状況を踏まえ、普及した関連サービスの活用を基本としつつ、更なる関連サービスの活用による質の高い医療の提供を評価する観点から、医療情報取得加算及び医療DX推進体制整備加算の評価を見直す。



現行			
【医療DX推進体制整備加算】			
初診時 (月に1回)	(医科)	(歯科)	(調剤)
・医療DX推進体制整備加算1	12点	11点	10点
・医療DX推進体制整備加算2	11点	10点	8点
・医療DX推進体制整備加算3	10点	8点	6点
・医療DX推進体制整備加算4	10点	9点	
・医療DX推進体制整備加算5	9点	8点	
・医療DX推進体制整備加算6	8点	6点	
※ 医科・歯科は初診料、調剤は調剤基本料			
【医療情報取得加算】			
初診時			
・医療情報取得加算	1点		
再診時 (3月に1回に限り算定)			
・医療情報取得加算	1点		
調剤時 (12月に1回に限り算定)			
・医療情報取得加算	1点		



改定後	
【電子的診療情報連携体制整備加算】	
初診時 (月に1回)	
・電子的診療情報連携体制整備加算1 / 2 / 3	15点 / 9点 / 4点
再診時 (月に1回)	
・電子的診療情報連携体制整備加算	2点
【電子的歯科診療情報連携体制整備加算】	
初診時 (月に1回)	
・電子的歯科診療情報連携体制整備加算1 / 2	9点 / 4点
再診時は医科と同様	
【電子的調剤情報連携体制整備加算】	
調剤基本料 (月に1回)	
・電子的調剤情報連携体制整備加算	8点

使ってみよう！  
マイナ保険証



## 電子的診療情報連携体制整備加算の新設②

### 電子的診療情報連携体制整備加算の新設②

[施設基準（電子的診療情報連携体制整備加算1）]

- (1) オンライン請求を行っていること。
- (2) **診療報酬明細書を患者に無償で交付**していること。
- (3) オンライン資格確認を行う体制を有していること。
- (4) 医師又は歯科医師が、**オンライン資格確認等システム**を利用して取得した診療情報を、診療を行う診察室、手術室又は処置室等において、閲覧又は活用できる体制を有していること。
- (5) **マイナ保険証利用率**が、**30%以上**であること。
- (6) マイナポータルの医療情報等に基づき、患者からの健康管理に係る相談に応じる体制を有していること。
- (7) 明細書発行に関する事項、医療DX推進の体制に関する事項等について、当該保険医療機関の見やすい場所及びウェブサイトに掲載していること。
- (8) **電子処方箋**を発行する体制又は調剤した薬剤に関する情報を電子処方箋システムに登録する体制を有していること。
- (9) 以下のアからウの全て又はエを満たす**電子カルテを有していること**。
  - ア 厚生労働省「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」に準拠した体制であること。
  - イ 電子処方箋管理サービスとの接続インターフェースを有していること。
  - ウ 電子カルテ情報共有サービスとの接続インターフェースを有していること。
  - エ 厚生労働省が認証する電子カルテ製品であること。
- (10) アを満たす又はイ及びウを満たすこと。
  - ア 国等が提供する**電子カルテ情報共有サービス**により取得される診療情報等を活用する体制を有していること。
  - イ **地域の複数の医療機関間で検査結果や画像情報等を含む診療情報を共有又は閲覧できるネットワーク**であって、以下の（イ）から（ハ）の全てを満たすものを活用する体制を有していること。
    - (イ) 当該ネットワークに参加している保険医療機関の数が10以上であり、そのうち診療情報を開示している病院の数が2以上であること。
    - (ロ) 登録患者数が1,000人以上であること又は新規登録患者数が年間100人以上であること。
    - (ハ) 当該ネットワークの運営主体が連携している医療機関名及び登録患者数をウェブサイトで公表していること。
  - ウ 以下の（イ）及び（ロ）を満たすこと。
    - (イ) 診療情報提供料（I）の検査・画像情報提供加算又は電子的診療情報評価料の施設基準を届け出ていること。
    - (ロ) 当該ネットワークに参加していること及び実際に患者の情報を共有している実績のある保険医療機関の名称について、当該保険医療機関の見やすい場所に掲示していること。

電子的診療情報連携体制整備加算 1	(1) ~ (10)の全て
電子的診療情報連携体制整備加算 2	(1) ~ (7)の全てかつ (8) ~ (10)のいずれか
電子的診療情報連携体制整備加算 3	(1) ~ (7)の全て

- 病院では約7割、一般診療所では約6割、歯科診療所では約4割が電子カルテを導入している

	病院		一般診療所		歯科診療所	
	東京都	全国	東京都	全国	東京都	全国
平成20年	14.2%	13.2%	17.6%	14.7%	25.2%	31.0%
平成26年	31.8%	32.2%	40.3%	35.0%	43.9%	49.5%
令和2年	54.1%	54.1%	55.3%	49.9%	43.3%	48.7%
令和7年	70.9%		58.7%			

※ 医療施設（静態・動態）調査より作成

※ 令和7年の病院・一般診療所実績は医療機能情報定期報告より作成

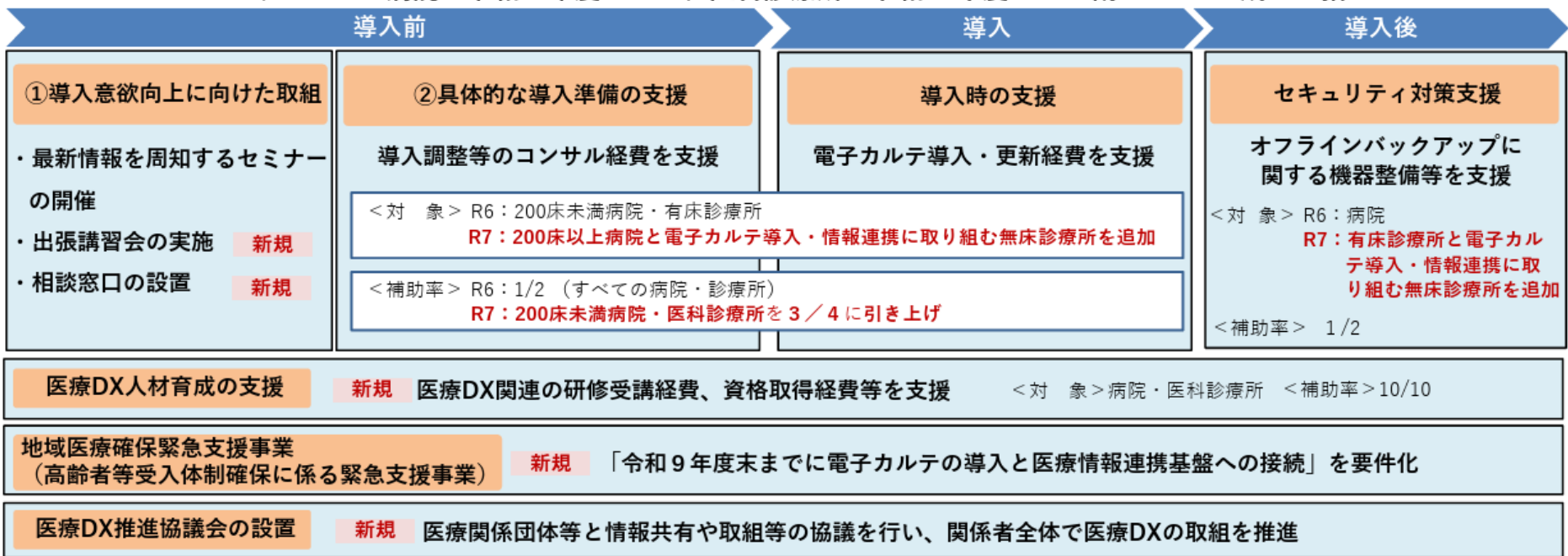
## 1 都における現在の状況

- 高齢者人口が更に増加し医療ニーズの質・量の変化が見込まれる中、都民に安全で質の高い医療を提供するため、デジタル技術を活用した医療情報の共有を推進し、医療機関等の一層の連携や業務効率化を図ることが重要
- 国は「医療DXの推進に関する工程表」で、必要な患者の医療情報を共有するための電子カルテについて、2030年（令和12年）に概ねすべての医療機関での導入を目指すとしている
- 都は、導入経費補助等を実施しているが、令和7年の導入率は病院70.9%、一般診療所58.7%の状況

情報共有のネットワーク構築に向け、都内医療機関に対する支援を拡充し電子カルテ導入を加速化

## 2 医療DX推進に向けた主な取組

- 令和7～9年度の3年間で医療機関への重点支援期間に位置づけ
- 電子カルテの導入率について病院は令和9年度までに、医科診療所は令和12年度までに概ね100%達成を目指す



[保健医療局トップ](#) > [医療政策](#) > [医療・保健施策](#) > 医療機関におけるデジタル化の支援について

# 医療機関におけるデジタル化の支援について

更新日：2026年3月13日

都では、医療機関におけるデジタル化を支援するため、様々な支援事業を実施しています。ぜひ御活用を御検討くださいますようお願いいたします。

## 相談窓口

電子カルテシステム未導入の都内病院及び医科診療所に向けた相談窓口を設置しています。

## 電子カルテシステム導入相談窓口

電子カルテシステム導入のメリット、電子カルテシステム導入に向けた準備のポイント、セキュリティ対策に関するなどが相談できます。

詳細は[コチラ](#)（[相談窓口へ移動](#)）から御覧ください。

## 医療機関デジタル化推進セミナー

都内医療機関従事者等を対象とした、医療機関のデジタル化に関するセミナーを開催いたします。

## 令和7年度 電子カルテで実現するデジタル医療革命（基礎編）（オンデマンド配信）

最新の国の医療DXの施策や推進のための取組、電子カルテ導入のメリット・ポイント、デジタル技術の活用事例や都の補助金などを御紹介します。

詳細は[コチラ](#)（[セミナーページへ移動](#)）から御覧ください。

## 令和7年度 電子カルテで実現するデジタル医療革命（第1回応用編）

第1部で講師から医療DXの進展や診療所でのAIの利用法と活用例についてご紹介、第2部でブースを設けて電子カルテやデジタル技術を活用した製品の紹介や実践演習を実施いたします。

詳細は[コチラ](#)（[セミナーページへ移動](#)）から御覧ください。

## 令和7年度 電子カルテで実現するデジタル医療革命（第2回応用編）

## 医療DXに係る出張講習会

## 見て・聞いて・触れる！はじめての電子カルテ講習会

医療DXの意義や電子カルテシステムの導入メリット等に関する内容の講習会を東京都医師会と連携して実施します。

詳細は[コチラ](#)（[出張講習会ページへ移動](#)）から御覧ください。

## 補助金（電子カルテシステム導入支援関係）

## 病院診療情報デジタル推進事業（対象：病院）

病院への電子カルテシステムの導入及び更新を支援します。

詳細は[コチラ](#)（[補助金ページへ移動](#)）から御覧ください。

## 診療所診療情報デジタル推進事業（対象：医科診療所）

医科診療所の電子カルテシステムの導入を支援します。

詳細は[コチラ](#)（[補助金ページへ移動](#)）から御覧ください。

## 医療機関診療情報デジタル導入支援事業（対象：病院・医科診療所）

医療機関が新たに電子カルテシステムを導入するために必要なコンサルタントの活用等に係る費用を補助します。

詳細は[コチラ](#)（[補助金ページへ移動](#)）から御覧ください。

## 補助金（その他デジタル化関係）

## 医療DX人材育成支援事業（対象：病院、医科診療所）

病院、医科診療所のDX人材の育成を支援します。

詳細は[コチラ](#)（[補助金ページへ移動](#)）から御覧ください。

## 地域医療連携システムデジタル環境整備推進事業（対象：病院・診療所）

医療機関が既に整備している電子カルテシステムやオーダリングシステムなどを利用して、医療機関同士が円滑に情報共有を行うためのデジタル技術を活用した医療連携ネットワーク構築を支援します。詳細は[コチラ](#)（[補助金ページへ移動](#)）から御覧ください。

# さいごに

- 医療DXの概要
- 全国医療情報プラットフォーム
- 東京総合医療ネットワーク
- 多職種連携システム
- 東京都「医療機関における医療DXの推進」



これからも医療DXは進んでいく